

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～49週
	第48週	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	12785 2.58	81 1.69	95 1.98	▲	62 3.10	71 3.55	▲	2 0.40	3 0.60	▲	2 0.20	5 0.50	▲	15 1.15	16 1.23	▲	11653
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2309 0.73	21 0.70	35 1.17	△	9 0.69	19 1.46	△	1 0.33	3 1.00	△	8 1.33	12 2.00	△	3 0.38	1 0.13	▽	1781
咽頭結膜熱	2599 0.82	49 1.63	52 1.73	▲	30 ◎2.31	30 ◎2.31		3 1.00	1 0.33	▽	12 ◎2.00	17 ◎2.83	△	4 0.50	4 0.50		1243
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9116 2.88	158 5.27	167 5.57	▲	66 5.08	76 5.85	▲	9 3.00	17 5.67	▲	63 ◎10.50	56 ◎9.33	▽	20 2.50	18 2.25	▽	6749
感染性胃腸炎	21980 6.94	220 7.33	243 8.10	▲	125 9.62	148 11.38	▲	8 2.67	10 3.33	▲	69 11.50	66 11.00	▽	18 2.25	19 2.38	△	6960
水痘	1943 0.61	46 1.53	23 0.77	▽	31 2.38	17 1.31	▽				5 0.83	1 0.17	▼	10 1.25	5 0.63	▽	711
手足口病	2977 0.94	57 1.90	28 0.93	▼	7 0.54	13 1.00	△	23 ◎7.67	3 1.00	▼	20 ◎3.33	12 ◎2.00	▽	7 0.88		▼	3748
伝染性紅斑	274 0.09	14 0.47	5 0.17	▽	3 0.23		▼	1 0.33		▽	10 1.67	5 0.83	▽				686
突発性発しん	1361 0.43	19 0.63	10 0.33	▽	2 0.15	3 0.23	△	1 0.33	2 0.67	▲	7 1.17	3 0.50	▽	9 1.13	2 0.25	▽	901
百日咳	35 0.01																25
ヘルパンギーナ	447 0.14	3 0.10	2 0.07	▽	3 0.23	2 0.15	▽										1273
流行性耳下腺炎	982 0.31	4 0.13	6 0.20	△	1 0.08		▽				3 0.50	3 0.50			3 0.38	△	604
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	10 0.01																
流行性角結膜炎	588 0.84	18 2.25	9 1.13	▽	18 4.50	8 2.00	▽				1 1.00		△				210
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01	1 0.10	2 0.20	△	1 0.25	2 0.50	△										86
クラミジア肺炎	7 0.01																
マイコプラズマ肺炎	187 0.39	5 0.50	9 0.90	△	3 0.75	4 1.00	△	1 1.00	3 3.00	▲				1 0.33	2 0.67	△	246
細菌性髄膜炎	10 0.02																5
無菌性髄膜炎	9 0.02		1 0.10	△											1 0.33	△	9

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
腸管出血性大腸菌感染症	患者				1	型別:O血清群不明 VT型不明。
レジオネラ症	患者			1	1	
クロイツフェルト・ヤコブ病	患者			1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1			1	※内、第48週追加報告分1件。肺炎球菌ワクチン接種歴:無し2件。

<通信欄>

※トピックスで、インフルエンザについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ			1	5	4	1	6	10	8	9	11	24	2		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	3	2	3	1	2	3									95
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	6	14	6	3	2		1							35
咽頭結膜熱	1	4	15	4	5	3	12	3		1	1	3			52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	10	20	30	19	19	15	13	9	21		4	167
感染性胃腸炎		19	37	26	26	20	18	26	16	7	9	30	1	8	243
水痘					2		2	3	2	8	2	4			23
手足口病	1	2	14	5		2	1	1		1		1			28
伝染性紅斑					1					2	1	1			5
突発性発しん		3	5	2											10
百日咳															
ヘルパンギーナ			2												2
流行性耳下腺炎			1		2	1			1		1				6

< 平成29年10月 月報 >

2017年11月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	26	6	15	4	2	2	5	2	4	190
	定点当り	1.40	2.60	1.50	3.75	4.00	2.00	1.00	2.50	0.67	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	7	2	3		1	2	3	3		63
	定点当り	0.70	0.70	0.50	0.75		1.00	1.00	1.50	1.00		
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1					1	2	19
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	1						1				31
	定点当り	0.10						0.50				
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	7				1	1		5	6	66
	定点当り	0.60	0.70				1.00	0.50		1.67	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	27	27	16	16	2	2	3	3	6	6	219
	定点当り	2.70	2.70	4.00	4.00	2.00	2.00	1.50	1.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

< トピックス >

【インフルエンザ情報】

第49週の県平均のインフルエンザの定点当たり報告数は1.98人であり、6週連続の増加となりました。

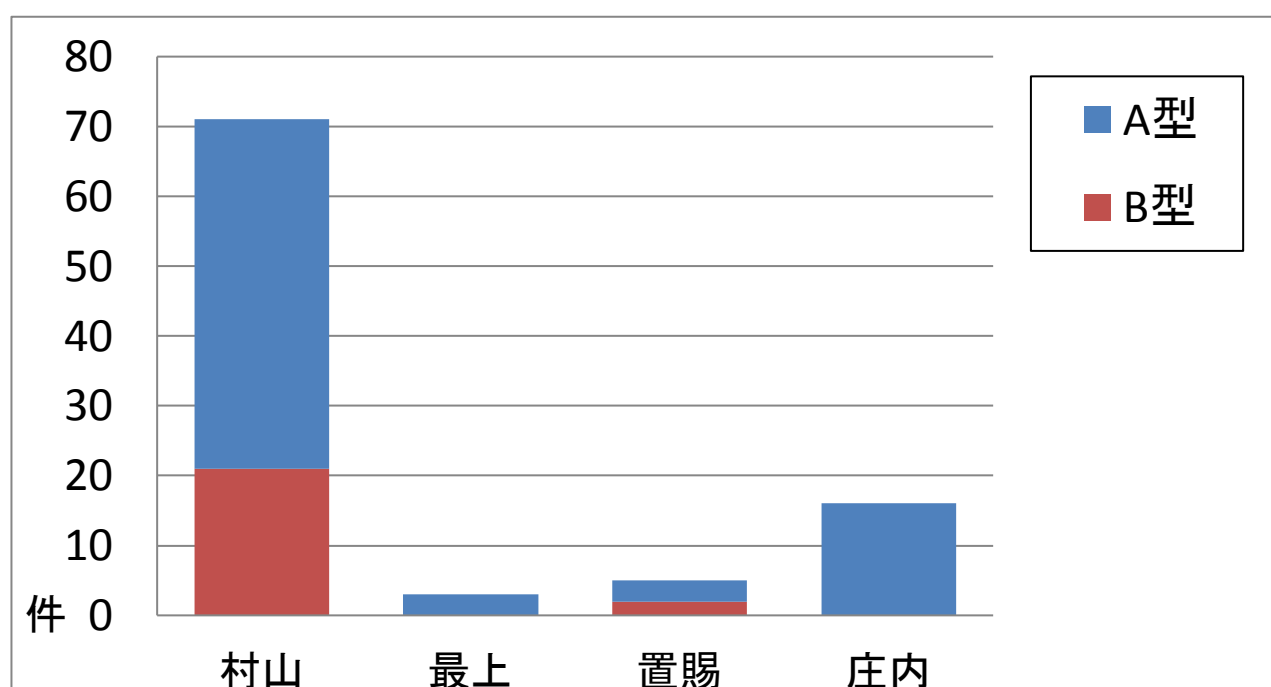
・インフルエンザ

警報開始基準値: 30人 警報終息基準値: 10人 注意報基準値: 10人

・第49週 定点当たり報告数 (山形県: 2.0人)

村山地区 3.6人、最上地区0.6人、置賜地区 0.5人、庄内地区 1.2人

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第49週)



2 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第49週)

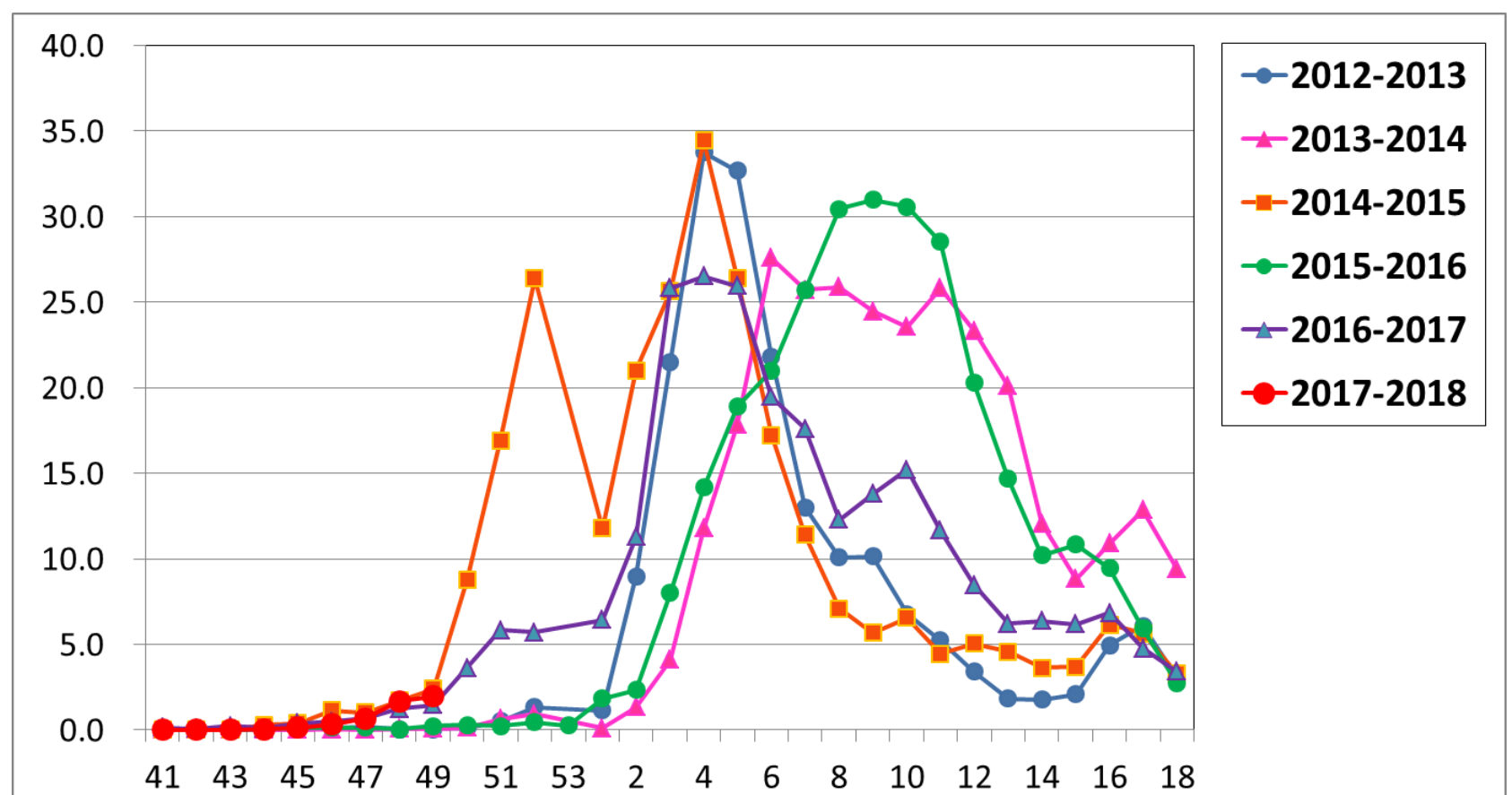
村山地区: 小学校 1件

3 インフルエンザウイルス分離状況 (衛生研究所 12月6日現在)

・2017-2018シーズン

A香港型 1件 (11月)

4 定点当たり報告数の推移(山形県)



インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。こまめな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」を心がけましょう。

かかったなと思ったら、症状が軽くても無理をして出勤したり登校したりすることは禁物です。早めに医療機関を受診し、発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)は自宅で静養しましょう。

「手洗い」、「マスク着用」、「咳エチケット」でインフルエンザ感染予防!

かかったなと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

